

プログラム（第1日目） 11月26日（日）

《 口 演 》

12:55～13:00 開会挨拶

第35回日本脳腫瘍学会学術集会会長 田宮 隆

13:00～13:50 シンポジウム1 遺伝子・分子治療

座長 Noriyuki Kasahara、竹島 秀雄

S1-1 マウス脳腫瘍モデルを用いた natural selection による HSV1 の改変

岡山大学大学院 脳神経外科 藤井謙太郎 Fujii Kentaro

S1-2 悪性神経膠腫に対するヒト iPS 細胞を用いた自殺遺伝子細胞療法

慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 田村 亮太 Tamura Ryota

S1-3 機能的ギャップ結合と自殺遺伝子療法のバイスタンダー効果についての検討

浜松医科大学 脳神経外科 鈿持 博昭 Kenmochi Hiroaki

S1-4 遺伝子治療製品「Ad-SGE-REIC」の悪性脳腫瘍対象第I/IIa 相試験に向けて

岡山大学大学院 脳神経外科 黒住 和彦 Kurozumi Kazuhiko

S1-5 膠芽腫を対象とした抗がんウイルス G47 Δ の第II 相試験

東京大学医科学研究所附属病院 脳腫瘍外科 田中 実 Tanaka Minoru

13:50～14:20 教育講演1

座長 市川 智継

「Clinical trials of virus-based immunotherapies for GBM」

E. Antonio Chiocca

Department of Neurosurgery, Brigham and Women's Hospital, Boston, MA, USA

14:20～14:50 教育講演2

座長 黒岩 敏彦

「米国におけるがん基礎研究、臨床への橋渡しと若手研究者の教育」

中野伊知郎

アラバマ大学バーミンハム校脳神経外科教授、がんセンターニューロオンコロジープログラム共同リーダー

14:50～15:50 シンポジウム2 最先端基礎研究

座長 Hiroaki Wakimoto、Ichiro Nakano

- S2-1 膠芽腫におけるチロシンキナーゼ型受容体 -AXL- のリン酸化様式と新規分子標的療法
山口大学医学部附属病院 脳神経外科 貞廣 浩和 Sadahiro Hirokazu
- S2-2 初発・再発神経膠腫のマルチオミクス比較解析から考える悪性転化機序とその治療戦略
東京大学 医学部 脳神経外科 武笠 晃丈 Mukasa Akitake
- S2-3 組織内のエピジェネティクス不均一性と膠芽腫の病態
東京女子医科大学 第一病理 増井 憲太 Masui Kenta
- S2-4 小脳 glioma の網羅的分子プロファイル解析
東京大学 医学部 脳神経外科 野村 昌志 Nomura Masashi
- S2-5 TMZ 抵抗性ミスマッチ修復遺伝子変異神経膠芽腫に対する PLK1 阻害剤の有用性
マサチューセッツ総合病院 脳神経外科 樋口 芙未 Higuchi Fumi
- S2-6 NAD⁺ 代謝を標的とした IDH1 変異神経膠腫治療法の開発
横浜市立大学 脳神経外科 立石 健祐 Tateishi Kensuke

16:10 ~ 17:30 シンポジウム3 小児脳腫瘍

座長 市村 幸一、園田 順彦、渡辺 祐子

- S3-1 新規同定された融合遺伝子 KLC1-ROS1 fusion は小児グリオーマの癌遺伝子である。
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 富山 新太 Tomiyama Arata
- S3-2 小児グリオーマ、上衣腫、胚細胞腫の遺伝子解析 —JCCG 中央診断より—
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 中野 嘉子 Nakano Yoshiko
- S3-3 小児びまん性脳幹部腫瘍における EZH2 及び BET ブロモドメイン標的療法
ノースウエスタン大学 医学部 脳神経外科 橋詰倫太郎 Hashizume Rintaro
- S3-4 Bifocal lesion・尿崩症・腫瘍マーカー陰性症例における組織診断の必要性
東北大学大学院 神経外科学分野 金森 政之 Kanamori Masayuki
- S3-5 大学病院での小児医療センター開設による脳腫瘍診療体制の構築
和歌山県立医科大学 医学部 脳神経外科 藤田 浩二 Fujita Koji
- S3-6 東北大学病院における SJMB96 による治療経験
東北大学 小児科 渡辺 祐子 Watanabe Yuko
- S3-7 当施設における脳脊髄腫瘍に対する陽子線治療の展望
兵庫県立こども病院 脳神経外科 河村 淳史 Kawamura Atsufumi

S3-8 AT/RT はどこまで解ったか？概念提唱から 20 年の変遷

北里大学メディカルセンター 脳神経外科学 岡 秀宏 Oka Hidehiro

17:30 ~ 18:30 特別講演 1

座長 松谷 雅生
共催 小児脳腫瘍研究支援委員会
「Medulloblastoma: The Evolution of our understanding using clinical features and advanced genomics」
Amar Gajjar
Department of Pediatric Medicine Director, Neuro-Oncology Division
St. Jude Children's Research Hospital, Memphis, TN, USA

《 ポスターセッション 》

21:00 ~ 21:25 ポスターセッション 1 髄膜腫

座長 藤井 正純

- P01-1 腫瘍－脳境界部の新規所見と再発・MIB1 index：髄膜腫を安全に摘出するために
静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科 出口 彰一 Deguchi Shoichi
- P01-2 術前鑑別診断に苦慮した嚢胞性髄膜腫の 3 例
東邦大学 医学部 医学科脳神経外科学講座(大森) 栄山 雄紀 Sakaeyama Yuki
- P01-3 当院で経験した悪性髄膜腫 3 症例の検討
聖マリアンナ医科大学 脳神経外科 内田 将司 Uchida Masashi
- P01-4 若年ならびに高齢髄膜腫症例における臨床像と治療成績の検討
金沢大学 脳神経外科 宮下 勝吉 Miyashita Katsuyoshi
- P01-5 鞍結節部髄膜腫に対する開頭術と経鼻内視鏡手術の術後成績の検討
名古屋大学 医学部 脳神経外科 棚橋 邦明 Tanahashi Kuniaki

21:25 ~ 21:50 ポスターセッション 2 髄膜腫・他

座長 松野 彰

- P02-1 Primary Intraosseous Microcystic Meningioma の一例
木沢記念病院 脳神経外科 岡田 誠 Okada Makoto
- P02-2 Sunitinib が効果的であった腎細胞癌の転移を伴う血管腫性髄膜腫の 1 例
三重大学 医学部 脳神経外科 石垣 共基 Ishigaki Tomoki

P02-3 術前腫瘍血管塞栓術を併用し全摘出可能であった hemangiopericytoma の 1 症例
東京ベイ浦安・市川医療センター 脳神経外科 澤田 佳奈 Sawada Kana

P02-4 側頭葉・小脳に転移を来した類上皮血管内皮腫
京都大学 医学部 脳神経外科 松井 恭澄 Matsui Yasuzumi

P02-5 内耳道内に進展を伴った Cerebello-pontine angle Hemangioblastoma
宮崎大学 医学部 脳神経外科 山下 真治 Yamashita Shinji

21 : 50 ~ 22 : 15 ポスターセッション 3 放射線誘発腫瘍・壊死

座長 鎌田 健作

P03-1 放射線誘発性脳腫瘍に対し手術加療を行った 5 例の検討
三重大学医学部附属病院 脳神経外科 鈴木 有芽 Suzuki Yume

P03-2 診断に難渋した放射線誘発性 midline glioma の一例
国立病院機構名古屋医療センター 脳神経外科 大野真佐輔 Ohno Masasuke

P03-3 Glioma に対する定位放射線治療後 10 年以上経過して生じた放射線壊死の 3 例
浜松医科大学 脳神経外科 大石 知也 Oishi Tomoya

P03-4 ベバシズマブは放射線脳壊死に薬事承認されるか？ AVAnecro 進捗状況の報告
大阪医科大学 医学部 脳神経外科 古瀬 元雅 Furuse Motomasa

P03-5 放射線脳壊死マウスモデルを用いた照射後脳組織リン脂質変化の解明
京都大学原子炉実験所 粒子線腫瘍学研究センター 近藤 夏子 Kondo Natsuko

22 : 15 ~ 22 : 45 ポスターセッション 4 転移性脳腫瘍

座長 中洲 庸子

P04-1 肺腺がんの髄膜癌腫症における新しい MR 所見：曲線形脳幹 FLAIR 高信号
静岡がんセンター 脳神経外科 三矢 幸一 Mitsuya Koichi

P04-2 Performance status の維持を目的とした転移性脳腫瘍に対する積極的手術介入
順天堂大学 医学部 脳神経外科 近藤 聡英 Kondo Akihide

P04-3 肝細胞癌脳転移の特徴とガンマナイフ治療の効果
日本大学 医学部 脳神経外科 荻野 暁義 Ogino Akiyoshi

P04-4 ガンマナイフによる制御が困難な乳がん脳転移の危険因子の検討
弘前大学大学院 医学研究科 脳神経外科学講座 片山 耕輔 Katayama Kosuke

P04-5 免疫療法導入後の脳転移に対するガンマナイフ治療の役割
洛西シミズ病院 脳神経外科 川邊 拓也 Kawabe Takuya

P04-6 高齢者肺腺癌脳転移症例の治療成績
獨協医科大学 脳神経外科 宇塚 岳夫 Uzuka Takeo

21:00 ~ 21:30 ポスターセッション5 小児脳腫瘍

座長 上松 右二

P05-1 後頭蓋窩に認められた神経鞘腫の小児例
国立成育医療研究センター 小児がんセンター 木村 由依 Kimura Yui

P05-2 小児退形成上衣腫の手術
三重大学 医学部 脳神経外科 松原 年生 Matsubara Toshio

P05-3 小児 ependymoma の治療成績
岐阜大学 医学部 脳神経外科 大江 直行 Ohe Naoyuki

P05-4 再発を繰り返す髄芽腫 WNT type の1例
埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 鈴木 智成 Suzuki Tomonari

P05-5 腫瘍内出血を来した髄芽腫の1例
熊本大学 医学部 脳神経外科 黒田順一郎 Kuroda Junichiro

P05-6 再発脳腫瘍の在宅移行に対する体制の問題
埼玉医科大学国際医療センター 看護部 大内 道晴 Ouchi Michiharu

21:30 ~ 21:50 ポスターセッション6 Diffuse midline glioma I

座長 寺島 慶太

P06-1 若年男性に発症した視床を主座とする悪性脳腫瘍の一例
東京都立大塚病院 脳神経外科 福原 宏和 Fukuhara Hirokazu

P06-2 *BRAF-V600E* 変異を伴った diffuse midline glioma 例
埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科 / 脳脊髄腫瘍科 安達 淳一 Adachi Junichi

P06-3 ヒストン H3 K27M 変異を有する視床神経膠腫の3例
北海道大学大学院 医学研究科医学部 脳神経外科 伊師 雪友 Ishi Yukitomo

P06-4 小児・若年成人発症視床神経膠腫の臨床病理学的検討
東京慈恵会医科大学 小児科 山岡 正慶 Yamaoka Masayoshi

21 : 50 ~ 22 : 10 ポスターセッション 7 Diffuse midline glioma II

座長 吉本 幸司

- P07-1 当施設における成人視床、脳幹部グリオーマの検討
東京医科歯科大学 脳神経外科 滕 云 Teng Yun
- P07-2 脳幹グリオーマに対する MR Spectroscopy を用いた IDH 遺伝子変異診断の有用性
神戸大学医学部附属病院 脳神経外科 田中 一寛 Tanaka Kazuhiro
- P07-3 脊髄グリオーマにおける H3 K27M 変異の臨床的意義
東京大学 医学部 脳神経外科 田中 将太 Tanaka Shota
- P07-4 H3F3 K27M 視床神経膠腫における遺伝子発現解析によるびまん性内在性橋膠腫との検討
横浜市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 中村 大志 Nakamura Taishi

22 : 10 ~ 22 : 40 ポスターセッション 8 胚細胞性腫瘍

座長 金森 政之

- P08-1 内視鏡生検による胚細胞性腫瘍診断における ASL の有用性
広島大学 脳神経外科 高野 元気 Takano Motoki
- P08-2 松果体実質腫瘍と頭蓋内胚細胞腫の画像による鑑別：腫瘍体積変化率による考察
大阪大学 医学部 脳神経外科 香川 尚己 Kagawa Naoki
- P08-3 ダウン症に合併した脳脊髄播種した germinoma を通常量の放射線化学療法で治療した一例
埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科 / 脳脊髄腫瘍科 三宅 勇平 Miyake Yohei
- P08-4 若年再発性頭蓋内胚細胞腫に対する自家末梢血幹細胞移植を用いた高用量化学療法
京都大学 医学研究科 脳神経外科 服部 悦子 Hattori Etsuko
- P08-5 生検困難な頭蓋内胚細胞性腫瘍に対する髄液 PLAP による診断と治療経過
金沢大学 脳神経外科 笹川 泰生 Sasagawa Yasuo
- P08-6 頭蓋内胚細胞腫における PD-1 発現と Foxp3+、CD8+ 陽性リンパ球浸潤の解析
京都大学 医学部 脳神経外科 荒川 芳輝 Arakawa Yoshiki

21 : 00 ~ 21 : 30 ポスターセッション 9 悪性リンパ腫 I (症例報告)

座長 宇塚 岳夫

- P09-1 陳旧性病変の存在のため初期診断に苦慮した中枢神経原発悪性リンパ腫の一例
関西医科大学 脳神経外科 羽柴 哲夫 Hashiba Tetsuo

- P09-2 4年間の寛解を経て再発した Lymphomatoid granulomatosis (LYG) の1例
新潟大学脳研究所 脳神経外科 渡邊 潤 Watanabe Jun
- P09-3 脳浸潤を来した Hodgkin's Lymphoma の1例
東邦大学 医学部 医学科脳神経外科学講座(大森) 榊田 博之 Masuda Hiroyuki
- P09-4 画像診断に苦慮した腎移植後 EB ウイルス positive CNS malignant lymphoma の一例
東邦大学 医学部 医学科脳神経外科学講座(大森) 野手 康宏 Node Yasuhiro
- P09-5 Pediatric-type follicular lymphoma と診断した頭蓋内硬膜原発悪性リンパ腫の1例
名古屋大学 医学部 脳神経外科 山口 純矢 Yamaguchi Junya
- P09-6 MTX-LPD による中枢神経系リンパ腫と診断した左頭頂葉腫瘍の1例
社会医療法人医仁会中村記念病院 脳神経外科 浅野目 卓 Asanome Taku

21:30 ~ 21:55 ポスターセッション 10 悪性リンパ腫Ⅱ

座長 泉本 修一

- P10-1 FDG-PET が有用であった頭蓋内外に多発した悪性リンパ腫
東京女子医科大学 脳神経外科 藤井 雄 Fujii Yu
- P10-2 膠芽腫と悪性リンパ腫の鑑別における FDG-PET と ASL 法の有用性
秋田大学大学院 脳神経外科 小野 隆裕 Ono Takahiro
- P10-3 硬膜内外に及ぶ中枢神経浸潤を示した悪性リンパ腫症例における腫瘍進展様式の考察
順天堂大学 医学部 脳神経外科 丹下 祐一 Tange Yuichi
- P10-4 血管内悪性リンパ腫に対するランダム皮膚生検の有用性について
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 山田依里佳 Yamada Erika
- P10-5 難治性再発 PCNSL に対する抗 PD-1 抗体投与の試みとその有効性に関する解析
大阪医科大学 医学部 がんセンター 宮武 伸一 Miyatake Shin-Ichi

21:55 ~ 22:20 ポスターセッション 11 悪性リンパ腫Ⅲ

座長 小林 浩之

- P11-1 再発中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するガンマナイフの治療成績
中村記念病院 脳神経外科 脳腫瘍センターガンマナイフセンター 石田 裕樹 Ishida Yuuki

- P11-2 複数回再発した中枢神経原発リンパ腫に対する ESHAP 療法の効果
宮城県立がんセンター 脳神経外科 山下 洋二 Yamashita Yoji
- P11-3 PCNSL に対する HD-MTX 療法においてポリグルタミン化誘導は新たな治療戦略となりうる
熊本大学大学院 生命科学研究部 脳神経外科学分野 藤本 健二 Fujimoto Kenji
- P11-4 中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する modified Bonn protocol の治療成績
京都大学 医学部 脳神経外科 牧野 恭秀 Makino Yasuhide
- P11-5 中枢神経系原発リンパ腫における MYC および BCL2 の発現と予後の関連
熊本大学 医学部 脳神経外科 牧野 敬史 Makino Keishi

22 : 20 ~ 22 : 40 ポスターセッション 12 悪性リンパ腫Ⅳ (高齢者)

座長 牧野 敬史

- P12-1 超高齢中枢神経原発悪性リンパ腫患者に対する大量 MTX 療法
京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経機能再生外科学 高橋 義信 Takahashi Yoshinobu
- P12-2 高齢者中枢神経系原発悪性リンパ腫に対する大量 MTX 基盤初期治療の成績と展望
杏林大学 医学部 脳神経外科 小林 啓一 Kobayashi Keiichi
- P12-3 高齢者中枢神経系原発悪性リンパ腫の治療と予後因子
埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 三島 一彦 Mishima Kazuhiko
- P12-4 高齢者 PCNSL に対する全脳照射を回避した R-MPV 療法の検討
日本赤十字社医療センター 脳神経外科 田部井勇助 Tabei Yusuke

21 : 00 ~ 21 : 30 ポスターセッション 13 MRI 画像

座長 井内 俊彦

- P13-1 ガドリニウム造影剤反復投与に伴う脳の MRI 信号変化：キレート型の違いによる変化
岡山療護センター 丸尾 智子 Maruo Tomoko
- P13-2 MR elastography は脳腫瘍弾性率の評価に有用である 一歩型超音波顕微鏡による検証
浜松医科大学 医学部 脳神経外科 小泉慎一郎 Koizumi Shinichiro
- P13-3 H-MRS と LCModel を用いた腫瘍代謝産物の定量的解析と頭蓋内腫瘍性病変の検出精度の改善
杏林大学 医学部 脳神経外科学 久米 賢 Kume Satoshi
- P13-4 非造影グリオーマに対するマルチモーダル画像解析における関心領域 (ROI) 設定法の影響
市立豊中病院 脳神経外科 高野 浩司 Takano Koji

P13-5 初発星細胞腫の予後に関する 3 Tesla MRI を用いた PASL、DTI、MRS の解析
大分大学 医学部 脳神経外科 札幌 博貴 Fudaba Hiroataka

P13-6 IDH 野生型グリオーマにおけるミオイノシトール/コリン比と予後の検討
藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科 公文 将備 Kumon Masanobu

21 : 30 ~ 21 : 55 ポスターセッション 14 グリオーマ臨床 I

座長 岩立 康男

P14-1 テモゾロミド治療後の悪性神経膠腫における変異蓄積と MGMT メチル化の変化
杏林大学 医学部 脳神経外科 齊藤 邦昭 Saito Kuniaki

P14-2 膠芽腫における LAPT4B-35 の発現と予後因子としての意義
東京医科歯科大学 脳神経外科 田村 郁 Tamura Kaoru

P14-3 術中 flow cytometry から算出した Malignancy index は膠芽腫の有用な予後予測因子である
東京女子医科大学 脳神経外科 齋藤 太一 Saito Taiichi

P14-4 膠芽腫治療におけるテモダール治療長期生存例の検討
九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 空閑 太亮 Kuga Daisuke

P14-5 再発膠芽腫の診療における臨床試験の影響
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 藤本 康倫 Fujimoto Yasunori

21 : 55 ~ 22 : 20 ポスターセッション 15 グリオーマ臨床 II

座長 青木 友和

P15-1 家族内発生 glioma の検討
東京女子医科大学 医学部 脳神経外科 岡本 沙織 Okamoto Saori

P15-2 グリオーマの待機治療例の検討
秋田大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 高橋 和孝 Takahashi Masataka

P15-3 新・旧分類乏突起系腫瘍における予後不良症例を検討した治療方針の再考
東京女子医科大学 脳神経外科 丸山 隆志 Maruyama Takashi

P15-4 Spinal cord glioma の治療成績
京都大学 医学部 脳神経外科 住吉 壮介 Sumiyoshi Sosuke

P15-5 頭蓋内神経膠腫における治療前、脊髄 MRI スクリーニングの有用性
山形大学 医学部 脳神経外科 松田憲一朗 Matsuda Kenichiro

22 : 20 ~ 22 : 45 ポスターセッション 16 グリオーマ臨床Ⅲ (症例)

座長 丸山 隆志

- P16-1 蘇生後脳症後 1 年生存した Glioblastoma
順天堂大学 医学部 脳神経外科 秋山 理 Akiyama Osamu
- P16-2 髄膜腫再発を思わせた膠芽腫の症例
埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科/脳脊髄腫瘍科 小林 裕介 Kobayashi Yusuke
- P16-3 髄膜播種を来した epithelioid glioblastoma に BRAF・MEK 阻害剤の併用が奏効した一例
新潟大学脳研究所 脳神経外科学教室 金丸 優 Kanemaru Yu
- P16-4 硬膜外伸展を認めた Glioblastoma の一例
大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科 福尾 祐介 Fukuo Yusuke
- P16-5 硬膜外へ進展した glioblastoma multiform の一例
札幌医科大学 医学部 脳神経外科学講座 木村 友亮 Kimura Yusuke

21 : 00 ~ 21 : 25 ポスターセッション 17 基礎研究Ⅰ、グリオーマ

座長 高野 晋吾

- P17-1 低酸素状態でのグリオーマ血管新生の問題点と対策
筑波大学附属病院 脳神経外科 高野 晋吾 Takano Shingo
- P17-2 動物モデルを用いた悪性グリオーマの angiogenesis-invasion shift の機序解明
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科 松本 悠司 Matsumoto Yuji
- P17-3 リゾホスファチジン酸を用いた脳腫瘍血管正常化は免疫療法を増強させる
大阪大学 医学部 脳神経外科 永野 大輔 Eino Daisuke
- P17-4 テモゾロマイド耐性グリオーマ株の耐性機構と相同組み換え能抑制による感受性増強効果
藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科 大場 茂生 Ohba Shigeo
- P17-5 細胞内コレステロールは TMZ によって誘導されるグリオブラストーマ細胞死を制御する
防衛医科大学校 脳神経外科 山本祐太郎 Yamamoto Yutaro

21 : 25 ~ 21 : 50 ポスターセッション 18 基礎研究Ⅱ、グリオーマ

座長 戸田 正博

- P18-1 グリオーマ初代培養確立株の特徴とその in vivo での形態の特徴についての検討
国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科 木嶋 教行 Kijima Noriyuki

- P18-2 グリオーマがん幹細胞に対する非選択性陽イオンチャンネルを標的とした治療効果
 関西医科大学 脳神経外科 岩田 亮一 Iwata Ryoichi
- P18-3 悪性神経膠腫細胞株における TRAIL と IFN- β の併用による抗腫瘍効果の検討
 日本大学 医学部 脳神経外科 吉村 相大 Yoshimura Sodai
- P18-4 8種の抗腫瘍性サイトカインによる抗グリオーマ効果の検討
 日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科 足立 好司 Adachi Koji
- P18-5 免疫制御因子である TDO2 の発現は転写因子の CEBPB によって制御される
 東京医科歯科大学 脳神経外科 工藤 琢巳 Kudo Takumi

21:50 ~ 22:15 ポスターセッション 19 基礎研究Ⅲ、グリオーマ

座長 阿部 竜也

- P19-1 HRM(High resolution melting) 法を用いた神経膠腫の TP53 変異解析
 宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座脳神経外科学分野 齋藤 清貴 Saito Kiyotaka
- P19-2 1p/19q 共欠失の臨床検査法確立と保険収載を目的とした新規 FISH プローブ開発
 国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 里見 介史 Satomi Kaishi
- P19-3 神経膠腫患者の髄液を用いた digital PCR による IDH1 R132H 変異検出と定量
 九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 赤木洋二郎 Akagi Yojiro
- P19-4 血清マイクロ RNA による脳腫瘍の早期診断の試み
 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 大野 誠 Ohno Makoto
- P19-5 脳腫瘍を標識する噴霧式新規蛍光プローブの開発
 東京大学 医学部 脳神経外科 北川 陽介 Kitagawa Yosuke

22:15 ~ 22:40 ポスターセッション 20 基礎研究Ⅳ、グリオーマ

座長 中村 英夫

- P20-1 神経膠腫におけるネオアンチゲンと免疫微小環境の経時変化に関するマルチオミクス解析
 東京大学 医学部 脳神経外科 根城 堯英 Nejo Takahide
- P20-2 糖鎖修飾ポドプラニン抗原認識 CAR-T 細胞のグリオーマ幹細胞への特異的殺細胞効果
 名古屋大学 医学系研究科 脳神経外科 チャリセ・ルシュン Chalise Lushun
- P20-3 オリゴデンドロサイトとマクロファージが膠芽腫細胞に治療抵抗性を誘導する
 熊本大学 医学部 脳神経外科 秀 拓一郎 Hide Takuichiro

P20-4 膠芽腫腫瘍幹細胞に対する STAT3 阻害剤の感受性についての検討

佐賀大学 医学部 脳神経外科 中原由紀子 Nakahara Yukiko

P20-5 幹細胞性維持因子 Girdin ノックアウトマウスでの腫瘍幹細胞様細胞ニッチの解明

名古屋大学 医学系研究科 脳神経外科学講座 加藤 彰 Kato Akira

21:30 ~ 22:30 デジタルポスターシンポジウム 1 最新の画像

座長 藤井 幸彦

共催 東芝メディカルシステムズ株式会社

DPS1-1 国内大規模画像コホートをを用いた人工知能による Grade II-III 神経膠腫の画像分子診断

関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク 木下 学 Kinoshita Manabu

DPS1-2 1HMRS での lipids peak 検出による脳腫瘍の鑑別診断

広島大学病院 脳神経外科 山崎 文之 Yamasaki Fumiyuki

DPS1-3 Astrocytoma 及び oligodendroglioma の鑑別診断における 7T MRI SWI の有用性

新潟大学脳研究所 脳神経外科 棗田 学 Natsumeda Manabu

DPS1-4 再発膠芽腫に対するアバスチン投与中の arterial spin labeling (ASL) 画像

岩手医科大学 脳神経外科 別府 高明 Beppu Takaaki

DPS1-5 悪性グリオーマに対するベバシズマブ治療後の画像変化

神戸大学 医学部 脳神経外科 篠山 隆司 Sasayama Takashi

DPS1-6 悪性神経膠腫に対する bevacizumab 治療効果予測に PET 検査は有用か？

香川大学 医学部 脳神経外科 三宅 啓介 Miyake Keisuke